

16th CSJ Chemistry Festa

参加募集

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ化学フェスタ2026

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ化学フェスタ2026を、10月20日(火)～22日(木)の日程で東京都江戸川区タワーホール船堀にて開催します。今回も驚きの企画、参加してよかったと思っただけの企画が目白押しです。皆様お誘いあわせのうえ、奮ってご参加下さい。

フェスタ企画

有料

テーマ企画

化学は様々な分野で科学技術の発展を牽引し、未来社会に向けたイノベーションの主演を担っています。テーマ企画では、多様な分野で新たな価値を生み出している化学技術や化学素材など化学に関わる研究開発の最前線から、化学の将来を担う学生に向けたチュートリアルまで、多岐にわたる多くの魅力的なテーマを企画しています。

- ① 新しい電池の力をつかめ!～セカイが広がる新技術～
- ② CO₂変換触媒と資源化が切り拓くカーボンニュートラル社会
- ③ パワーデバイス材料の最前線～高効率システムを支えるテクノロジー～
- ④ 速く、無駄なく、その先へ!～高効率プロセスが拓く持続可能なものづくり～
- ⑤ AI時代のデータセンターを支える材料技術～電力・熱・高周波マネジメントの最前線～
- ⑥ さよなら「勘と経験」!?～AIが導く次世代化学のショートカット術～
- ⑦ ナノ空間で操るイオンの流れ～空間構造と次元制御が拓くイオニクス・エネルギー変換材料の最前線～
- ⑧ 「くっつく力とはがす知恵」～革新的な接着材料の最前線～
- ⑨ 分散・界面設計が創る新素材プロセスの未来～粒子輸送・構造形成・ナノ分散材料～
- ⑩ π 電子たちの大冒険!～ナノカーボンと有機半導体が描くエレクトロデバイス革新～
- ⑪ こんなところに液晶が!～「結晶」と「液体」のあいだに潜む魅惑の新素材～
- ⑫ バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～嗅覚センサによるものづくり～
- ⑬ バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～分子を駆使して細胞・生命体を創る・操作する～
- ⑭ バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～バイオのチカラによる化学品製造の最前線を追う～
- ⑮ 人生は自分で切り開くぞ!博士取得後のキャリアプラン
- ⑯ 英語で発表しよう!博士課程学生オーラルセッション
English Oral Presentation Session for PhD Students
- ⑰ 化学のプレゼンに役立つKNOW-HOW
- ⑱ はじめてみようデータ駆動型の研究
- ⑲ これは考えもしなかったね!新反応からつないだこんな新分子～新材料～そして新医療技術
- ⑳ 半導体をつくる「見えない分子」: プロセス材料最前線
- ㉑ 界面を操る: くっつかない・はがす・すべらせるが生む表面機能化学
- ㉒ 守る・診る・直す!～インフラ防災を支える材料と技術～
- ㉓ 生命のダイナミクスを工学へ～動的バイオミメティクス材料の最前線～

産学官R&D紹介企画

産学官の諸機関の研究開発アクティビティを紹介します。参加機関の様々なアピールを見て、聴いて、お楽しみ下さい。

- R&D展示ブース ● ランチャタイムセッション(講演)

学生ポスター発表

3日間で約950件のポスター発表が行われます。いずれのポスターでも産学官の研究者と学生の熱いディスカッションが繰り広げられ、今回も優秀な発表に対してポスター発表賞が授与されます。

公開企画

無料

公開講座

- イグノーベル賞から見る化学

2026ノーベル賞解説講演

今年のノーベル賞の内容を分かり易く解説します。

コラボレーション企画

各機関からの情報発信により産学官の交流深耕、連携促進の一助とすることを目的として、コラボレーション企画を実施します。どの企画も参加者にとって興味深く有益な情報が得られる場ですので、積極的にご参加下さい。

① 三井化学特別企画:

触媒科学フォーラム～触媒科学最前線～

② 文部科学省「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト京都大学拠点」・「学術変革領域研究(A)精密高分子のデータ・進化学による次世代医薬創出」合同企画 特別企画:

データサイエンス・AI駆動による高分子材料・医薬開発の最新動向

③ 新化学技術推進協会特別企画:

Green and Sustainable Chemistry(GSC)とCircular Economy(CE)の実現に向けて

④ 産業技術総合研究所特別企画:

生物 × 化学プロセス連携が拓く次世代ものづくり

⑤ 研究基盤・先端機器がつなぐ地域中核大学の研究基盤強化

～地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)が拓く研究の未来～

⑥ 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)特別企画:

化学研究を社会実装へつなぐNEDOの役割と支援事業

参加登録のご案内 <https://festa.csj.jp/2026/>

CSJ化学フェスタで実施する企画へ参加される方には
有料・無料に関わらず参加登録をお願いしています。ウェブサイトよりお申込み下さい。

早期申込期間	8月3日～9月9日	通常申込期間	10月1日～会期当日
プログラム公開	8月3日	Web予稿集公開	9月24日

フェスタ企画参加費 ※参加費はすべて税込価格です。

参加区分	正会員 ^{*1}	非会員	学生会員	非会員学生	ポスター審査員 ^{*2}	プログラム集(冊子版)
早期	18,000円	30,000円	6,000円	8,000円	14,000円	2,500円
通常 ^{*3}	21,000円	33,000円	8,000円	9,000円	14,000円	購入不可

^{*1}…個人正会員・教育会員・シニア会員および法人正会員企業に所属する方が対象です。
^{*2}…ポスター審査員の方について、審査日に限定して当日開催される企画に無料でご参加いただけます。
審査日以外の日程に参加される場合、参加登録をお願い致します。
^{*3}…通常申込期間のお支払い方法はクレジットカードのみとなります。
^{*4}…参加費の課税区分は全て課税です。

2026/10/20(Tue.)-22(Thu.)

会場 | 東京都江戸川区タワーホール船堀
(東京都江戸川区船堀4-1-1)

主 催 | 公益社団法人日本化学会

後 援 | 文部科学省 / 独立行政法人国立科学博物館 / 国立研究開発法人科学技術振興機構 / 一般社団法人日本化学工業協会 / 公益社団法人新化学技術推進協会 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 国立研究開発法人理化学研究所 / 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 / 国立研究開発法人物質・材料研究機構 / 江戸川区

	会場	09	10	11	12	13	14	15	16	17	
5F	A会場 [小ホール]		10:30-10:40 開会式	10:40-12:00 2026ノーベル賞 解説講演 本年度のノーベル賞の内容を、分かり易く解説する講演会を実施いたします。		13:30-17:30 三井化学特別企画：触媒科学フォーラム ～触媒科学最前線～ 三井化学は「地球環境と調和の中で、材料・物質の変革と創出を通じて広く社会に貢献する」ことを目指しており、ものづくりの基盤技術である触媒科学の発展に向けて本フォーラムを開催します。本セッションでは、触媒科学の第一線で活躍の先生方による講演と、本年の三井化学触媒科学賞受賞者による最先端の触媒技術の紹介を予定しています。					
4F	B会場 [研修室]										
	C会場 [蓬莱]		10:00-18:00 これは考えもしなかったね！ 新反応からつないだこんな新分子～新材料～そして新医療技術 最近の有機合成化学は想像以上に進化していますよ！これまでは考えもしなかった新反応が開発され、ここから私達の未来社会を創る新材料や画期的な医療診断技術が開拓されているんです。本セッションでは、これを実現した12人の講師にそのきっかけとコツ、そして有機合成化学者の将来像を伺いましょう。								
2F	D会場 [瑞雲]		9:40-12:00 CO ₂ 変換触媒と資源化が切り拓く カーボンニュートラル社会 カーボンニュートラル社会の実現に向け、産官学で進展するCO ₂ 変換・資源化技術に着目し、化学の中核である触媒に焦点を当てたセッションを企画しました。産学の講演者を引き、最先端研究の成果とその社会実装の可能性について議論します。最新動向の共有と課題整理を通じ、今後の研究開発の方向性を明確化したいと考えます。		13:30-17:20 AI時代のデータセンターを支える材料技術 ～電力・熱・高周波マネジメントの最前線～ 本セッションでは、近年急速に拡大するデータセンターの課題の中でも電力・熱・高周波のマネジメントに関するものに着目します。これらの課題に挑み、次世代データセンターの効率化に貢献する研究・技術動向を紹介いたします。						
			12:15-13:05 日本ゼオン株式会社ランチタイムセッション ～つながって起こそうカガク変化を～								
	E会場 [平安]		9:30-12:00 ナノ空間で操るイオンの流れ ～空間構造と次元制御が拓くイオニクス・エネルギー変換材料の最前線～ ナノ空間や低次元構造におけるイオン輸送は、従来のバルク材料とは異なる特異なダイナミクスを示し、エネルギー変換・貯蔵デバイスをはじめとする幅広い機能材料への応用が期待されています。本セッションでは、多孔体、層状材料等の多様な材料系を対象に、空間構造や次元制御がもたらすイオン輸送や界面現象を横断的に議論します。		13:30-17:15 「くっつく力とはがす知恵」 ～革新的な接着材料の最前線～ 「接着」は、材料をつなぎ新しい構造や機能を生み出します。本セッションでは、接着界面の基礎から、生体模倣接着や易解性接着などの革新的接着材料を紹介いたします。さらに産業応用の事例も取り上げ、「くっつく」と「はがす」を自在に操る接着材料の最前線を探ります。						
			12:15-13:05 東レ株式会社ランチタイムセッション ～東レの研究開発のご紹介～								
	F会場 [福寿]		9:30-12:00 半導体をつくる「見えない分子」： プロセス材料最前線 半導体はAIやデジタル社会を支える基盤技術であり、その高性能化は社会の発展に直結しています。この進歩を支えているのは、微細化を実現する製造プロセスを担う「見えない分子」です。本セッションでは、リソグラフィ、エッチング、平坦化(CMP)、パッケージングにおけるプロセス材料の最前線を紹介いたします。		13:30-17:00 バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり ～嗅覚センサによるものづくり～ においは五感の中でも定量化が困難であり、最後のフロンティアと称されています。最近、バイオと化学のチカラにより、嗅覚センサの研究が進み、新しいものづくり、サービスの提供が社会実装されつつあります。本セッションでは、嗅覚センサ開発を支える基盤技術と応用について、化学的側面から最新のトレンドを紹介いたします。						
			12:15-13:05 Royal Society of Chemistryランチタイムセッション ～研究におけるAIの活用とは～								
	G会場 [桃源]		9:30-12:00 人生は自分で切り開くぞ！ 博士取得後のキャリアプラン 本セッションでは、博士号を取得するとはが違ふのか、またどのような人生が描けるのかを、産官学の第一線で活躍されているベテラン・若手研究者の方々に講演していただきます。講演を通じて、学生の皆さんが「自分が活躍する将来像」を具体的にイメージできるようにアドバイスを贈ります。		13:30-17:00 文部科学省「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト京都拠点」・「学術革新領域研究(A) 精密高分子のデータ・進化工学による次世代医療創出」合同企画 特別企画：データサイエンス・AI駆動による高分子材料・医療開発の最新動向 カーボンニュートラル社会、Society 5.0、レジリエンス医療、そして Well-being 社会を実現するためには最先端材料は欠かせない基盤の一つです。本セッションでは、データ科学に基づいた DX 手法を有効活用することにより、革新的な機能・性能を有する高分子材料・医療の効率的な開発を目指します。さらに、従来には全く異なる先進的なデータ駆動型研究手法を生み出し、産業界との緊密な連携の下で展開していく課題について議論いたします。						
1F	産学官R&D 展示会場 [展示ホール]		10:00-18:00 産学官R&D紹介企画 - 展示ブース - 企業や研究機関がポスターや製品サンプル・モデルの展示などで研究開発アクティビティを個性豊かに紹介します。 旭化成(株)、大塚有機化学工業(株)、花王(株)、(株)ADEKA、(株)浮間化学研究所、(株)クラレ、(株)クレハ、(株)島津製作所、(株)豊田中央研究所、(株)日本触媒、JSR(株)、四国化成工業(株)、田岡化学(株)、DIC(株)、帝人(株)、デンカ(株)、東亜合成(株)、東ソー(株)、東洋紡(株)、東レ(株)、日揮ユニバーサル(株)、日産化学(株)、日本ゼオン(株)、北興化学工業(株)、三井化学(株)、三菱ケミカル(株)、三菱ケミカル(株)、文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ、UBE(株)、ライオン(株)								
			10:00-12:00 学生ポスター発表:P1 物理化学[001-015]、無機化学・触媒化学・分析化学[016-035]、有機化学[036-054]、天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー[055-069]、高分子化学[070-089]、材料化学[090-107]	13:30-15:30 学生ポスター発表:P2 無機化学・触媒化学・分析化学[001-020]、有機化学[021-040]、錯体・有機金属化学[041-054]、天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー[055-069]、高分子化学[070-088]、材料化学[089-107]	16:00-18:00 学生ポスター発表:P3 無機化学・触媒化学・分析化学[001-020]、有機化学[021-042]、錯体・有機金属化学[043-057]、天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー[058-071]、高分子化学[072-088]、材料化学[089-107]						
	ポスター会場										
		09	10	11	12	13	14	15	16	17	

10:30-10:40	開会の挨拶 森川 宏平(日本化学会 会長/株式会社ソリナック・ホールディングス 取締役 取締役会議長) 加藤 隆弘(化学フェスタ実行委員会 委員長/信州大学 特任教授/岡山大学 特任教授/東京大学 名誉教授)
13:30-13:40	開会挨拶 坂本 晃大(三井化学株式会社 執行役員 技術戦略室長)
13:40-14:20	[三井化学 触媒科学賞 受賞講演]Simplifying Synthesis Through Catalytic Radical Cross-Coupling Phil S. Baran(Scripps Research - Professor)
14:20-15:00	[招待講演]Organocatalysis in Efficient Synthesis 林 雄二郎(東北大学 大学院理学研究科・教授)
15:10-15:50	[三井化学 触媒科学奨励賞 受賞講演]Heterogeneous Electrocatalysis from Carbon Dioxide, Nitrogen, and Water Feedstocks Karthish Manthiram(California Institute of Technology - Professor)
15:50-16:30	[三井化学 触媒科学奨励賞 受賞講演]Biocatalytic Strategies for Stereoselective Radical-Mediated Carbon-Carbon Bond Formation Yang Yang(University of California, Santa Barbara - Associate Professor)
16:30-17:10	[招待講演]Nanocatalysts for a low-carbon society: upgrading chemicals through hydrogenation 山内 美穂(九州大学 先端物質化学研究所 教授/東北大学 材料科学高等研究所 教授)
17:10-17:20	三井化学 触媒科学賞・触媒科学奨励賞 授賞式
17:20-17:30	閉会挨拶 市村 聡(三井化学株式会社 代表取締役社長)
10:00-10:05	開会挨拶 田中 克典(理化学研究所 開拓研究本部 主任研究員)
10:05-10:35	化学反応と元素の潜在能力を最大限に引き出す触媒! 菅原 守(大阪大学 大学院工学研究科 教授)
10:35-11:05	え、計算機がこんな反応や分子を作っちゃう?! 中島 誠也(東京大学 大学院薬学系研究科 准教授)
11:05-11:30	あれ?混ぜるとこんなことができちゃうの?! 久保田 浩司(北海道大学 工学研究院 教授)
11:30-12:00	光やイオンの刺激で材料を作って機能を操ろう! 正井 宏(東京大学 大学院工学系研究科 准教授)
13:30-14:00	有機合成化学でもっと、もっと光らせよう! 高秀雄(ニコンミクス株式会社 技術開発本部・シニアエキスパート)
14:00-14:30	化学反応で変わったり、治ったり、自己意識を持つ材料?! 大塚 英幸(東京科学大学 物質理工学院 教授)
14:30-15:00	有機合成化学で人工的な生体を作り上げ! 北岸 宏亮(同志社大学 理工学部 教授)
15:15-15:45	考えもしなかった新分子をどうやって医療に使うの?その手順とノウハウ 山本 憲幸(株式会社Flix Bio 代表取締役)
15:45-16:10	人工核酸分子で底知れぬ遺伝子のパワーを引き出そう! 今西 未来(京都大学 化学研究所 教授)
16:10-16:40	合成して手にとってみて初めてわかる天然糖鎖の偉大な機能 眞鍋 良幸(大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授)
16:55-17:25	あ、いよいよ落ちたね、最後の樹皮天然糖質の有機合成化学 青柳 雄太朗(東京科学大学 生命理学院 准教授)
17:25-17:55	天然有機化合物に変わって開け!人工ペプチドワールド! 伊藤 寛晃(東京大学 大学院薬学系研究科 准教授)
17:55-18:00	閉会挨拶 池本 晃喜(東京大学 大学院理学系研究科 准教授)
09:40-09:45	開会挨拶 小柳津 研一(早稲田大学 理工学術院 教授)
09:45-10:15	CCUSIに関わる分離プロセス・触媒プロセス 松方 正彦(早稲田大学 理工学術院 教授)
10:15-10:45	電気化学的CO ₂ 資源化技術 一現状を認識し、将来性を考えるー 中西 周次(大阪大学 太陽エネルギー化学研究センター 教授)
10:55-11:25	グリーンメタノールを原料とするポリオレフィン原料の製造 高原 潤(三菱ケミカル株式会社 TPF企画 推進室)
11:25-11:55	安定化炭酸脱水酵素を利用したCO ₂ 変換技術 谷口 直優(東ソー株式会社 ライフサイエンス研究所 副主任研究員)
11:55-12:00	閉会挨拶 石渡 拓己(新エネルギー・産業技術総合開発機構 バイオ・材料部 主査)
13:30-13:35	開会挨拶 福岡 啓志(出光興産株式会社 技術戦略部)
13:35-14:10	光と電気の融合がもたらす次世代チップ技術 高 嘉(産業総合研究所 光電融合研究センター 上級主任研究員)
14:10-14:45	電気光学ポリマーが拓く高効率高速光変調器 横山 士吉(九州大学 先端物質化学研究所 教授)
14:45-15:20	超高速無線通信を支える高耐熱・低誘電損失ポリマー材料 安藤 慎治(東京科学大学 名誉教授/研究員)
15:30-16:05	低誘電と難燃性を兼ね備えた高周波銅張積層板用樹脂 小柳津 研一(早稲田大学 先進理工学部 教授)
16:05-16:40	電子機器の熱問題を開く高放熱ポリマー材料 上利 泰幸(一般社団法人大阪工研協会 常務理事)
16:40-17:15	データセンターを走る高周波対応ポリマーの難燃化処方 他地 正年(一般社団法人難燃材料研究会 理事/副会長)
17:15-17:20	閉会挨拶 山口 和也(東京大学 大学院工学研究科 教授)
09:30-09:35	開会挨拶 林 文隆(信州大学 工学部 准教授)
09:35-10:10	MOFが拓く中温プロトン伝導 堀毛 悟史(京都大学 大学院理学系研究科 教授)
10:10-10:45	クラスター・多孔体が拓くプロトン伝導 固体酸触媒 内田 ざや(東京大学 大学院総合文化研究科 教授)
10:45-11:20	無機ナノシートが拓く次世代バイオーラ膜 山本 瑛祐(名古屋大学 未来材料・システム研究所 助教)
11:20-11:55	複合アニオン化合物が拓くヒドライド伝導体 小林 玄器(理化学研究所 開拓研究所 主任研究員)
11:55-12:00	閉会挨拶 北島 拓哉(ENEOS株式会社 中央技術研究所 担当マネージャー)
13:30-13:35	開会挨拶 中村 修一(名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授)
13:35-14:35	[基調講演]接着界面の化学・基礎理解から革新的接着技術へー 田中 敬二(九州大学 大学院工学研究科 教授)
14:35-15:10	ミクロ貝模倣で実現する「強く貼ってやさしく剥がせる」生体界面接着 阿部 博弥(東北大学 理学部化学フロンティア研究所 准教授)
15:25-16:00	極限環境に挑む次世代接着材料 内藤 昌信(物質・材料研究機構(NIMS) 高分子・バイオ材料研究センター・センター長)
16:00-16:35	易解性接着技術の開発と実用化 ～電気剥離テープを例として～ 筧 秀樹(大阪産業技術研究所 和泉センター 主幹研究員)
16:35-17:10	可動性架構による強固で解体可能な接着材料 荒井 隆行(リソテック株式会社 研究開発本部 副部長)
17:10-17:15	閉会挨拶 植山 卓郎(富士フイルム株式会社 解析技術センター 主任研究員)
09:30-09:35	開会挨拶 家 裕隆(大阪大学 産業科学研究科 教授)
09:35-10:10	半導体パッケージ用材料の最前線 山中 公博(大阪大学 産業科学研究科 特任教授)
10:10-10:45	自己組織化リソグラフィの最前線 早川 晃雄(東京科学大学 物質理工学院 教授)
10:45-11:20	レジスト材料と溶剤の最前線 近藤 英雄(株式会社ダイセル スマートSBU・スマートSBU長補佐/弁理士)
11:20-11:55	半導体用CMP材料の最前線 山田 裕也(JSR Electronic Materials Taiwan Co., Ltd CMP materials team Senior manager)
11:55-12:00	閉会挨拶 蟹江 澄志(東北大学 多元物質科学研究所 教授)
13:30-13:35	開会挨拶 山本 政宏(TOTO株式会社 総合研究所 上席研究員)
13:35-14:05	嗅覚受容体解析による新しい香りのデザイン 吉川 敬一(花王株式会社 感覚科学研究所 特定テーマリーダー)
14:05-14:35	においを自在に操る技術で医療やエンタメなどの新たな挑戦 藤田 修二(Solfactor Technologies株式会社 代表取締役)
14:35-15:05	堅牢な人工嗅覚材料の学理 柳田 剛(東京科学大学 大学院工学系研究科 教授)
15:05-15:35	皮膚ガスによるストレス判定技術 山口 秀明(株式会社アイシン 第1先行開発部 主任)
15:55-16:25	昆虫の嗅覚を活用したにおいバイオセンサの開発とその実用化 神崎 亮平(東京大学 名誉教授/先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー)
16:25-16:55	においの特徴を画像として捉えるCMOS集積化センサ 野田 俊彦(豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所 准教授)
16:55-17:00	閉会挨拶 田中 賢(九州大学 先端物質化学研究所 教授)
09:30-09:35	開会挨拶 藤田 恭子(東京薬科大学 薬学部 准教授)
09:35-10:05	自分の人生を生きていくという 玉田 薫(九州大学 先端物質化学研究所 教授/副学長)
10:05-10:30	「ロールモデルはいらない。」ー博士のその先、どう自分を決めるかー 石田 洋平(東京都立大学 大学院都市環境科学研究所 准教授)
10:30-10:55	正解のない時代における材料化学者のキャリア選択 ーやりたいことを模索するー 近藤 慎司(Matiantis株式会社)
11:00-11:25	無限のpHサイクルで生かせる 上川 裕子(タカラヘルム株式会社 開発本部・グループ長)
11:25-11:55	生体や導電の橋を他者に渡らせな〜キャリアを叩く博士といふ選択 ー 藤澤 玲(KHオキナギ株式会社 技術開発センター マネージャー)
11:55-12:00	閉会挨拶 矢島 知子(お茶の水女子大学 理学部 教授)
13:30-13:35	開会挨拶 沼田 圭司(京都大学 大学院工学研究科 教授)
13:35-13:50	材料DX バイオ 高分子拠点 沼田 圭司(京都大学 大学院工学研究科 教授)
13:50-14:05	精密高分子のデータ 進化工学による次世代医療創出 星野 友(九州大学 大学院工学研究科 教授)
14:05-14:30	タンパク質間相互作用を阻害する精密高分子医薬の合理的設計 新井 奈仁(東京大学 大学院総合文化研究科 教授)
14:30-14:55	データ不足の壁を乗り越えるSim2Realポリマー/バイオマテリアル 林 寛浩(統計数理研究所 先端データサイエンス研究系 准教授)
14:55-15:20	精密高分子を用いた疾患治療戦略 小出 裕之(静岡県立大学 薬学部 准教授)
15:30-15:55	マルチオミクスで解き明かし、利活用する生体適合性のフランクチック 岡田 寛之(東京大学 大学院医学系研究科 講師)
15:55-16:20	繊維状ウイルスの遺伝子改変を利用したデータ駆動型機能性創出 清田 敬樹(東京科学大学 生命理学院 教授)
16:20-16:40	1,000種のクモ糸の配列・物性相関解析に基づく人工クモ糸繊維の物性制御 中村 浩之(Spiber株式会社 Protein Solution Development Division 研究員)
16:50-17:15	ポリマーインフォマティクスで加速するサーキュラー高分子材料開発 内藤 昌信(物質・材料研究機構(NIMS) 高分子・バイオ材料研究センター・センター長)
17:15-17:40	電子ラノードで拓く高分子材料研究の新しいカタチ 藤ヶ谷 剛彦(九州大学 大学院工学研究科 教授)
17:45-17:50	閉会挨拶 秋吉 一成(京都大学 高等研究院 教授)

10月21日(水)												フェスタ企画…有料				公開企画…無料			
※有料・無料に関わらず参加登録が必要です。																			
	会場	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18								
5F	A会場 [小ホール]											13:30-16:45							
												公開講座 「イグノーベル賞から見る化学」							
4F	B会場 [研修室]											13:30-17:05							
												分散・界面設計が創る新素材プロセスの未来 ～粒子輸送・構造形成・ナノ分散材料～							
	C会場 [蓬莱]											9:30-17:45							
												英語で発表しよう！博士課程学生オールセッション English Oral Presentation Session for PhD Students							
2F	D会場 [瑞雲]											9:40-12:00		13:30-16:45		18:15-19:00 開場予定 18:00-			
												速く、無駄なく、その先へ！ ～高効率プロセスが拓く持続可能なものづくり～		さよなら「勘と経験」!? ～AIが導く次世代化学のショートカット術～					
	E会場 [平安]											12:15-13:05		13:30-16:45		交流会			
												株式会社クレハランチタイムセッション ～「ナケレバ、ツクレバ。」社員から見たクレハのR&D～		新化学技術推進協会 特別企画「Green and Sustainable Chemistry (GSC)とCircular Economy (CE)の実現に向けて」		守る・診る・直す！ ～インフラ防災を支える材料と技術～			
	F会場 [福寿]											12:15-13:05		13:30-16:45					
												東亜合成株式会社ランチタイムセッション～素材と機能の可能性を追求する、東亜合成の研究開発事例		バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり ～分子を駆使して細胞・生命体を創る・操作する～					
	G会場 [桃源]											9:40-11:50		13:30-17:25					
												界面を操る・くっつけない・はがす・すべらせるが生む表面機能化学		産業技術総合研究所 特別企画「生物 × 化学プロセス連携が拓く次世代ものづくり」					
1F	産学官R&D 展示会場 [展示ホール]											10:00-18:00		10:00-12:00		13:30-15:30		16:00-18:00	
												産学官R&D紹介企画・展示ブース		学生ポスター発表:P4		学生ポスター発表:P5		学生ポスター発表:P6	
	ポスター 会場											10:00-12:00		13:30-15:30		16:00-18:00			
												物理化学[001-015]、有機化学[016-035]、錯体・有機金属化学[036-050]、天然物化学[051-065]、高分子化学[066-085]、材料化学[086-107]		物理化学[001-019]、無機化学・触媒化学・分析化学[020-041]、有機化学[042-069]、天然物化学・生体機能関連化学「バイオテクノロジー」[070-084]、材料化学[085-107]		無機化学・触媒化学・分析化学[001-020]、有機化学[021-044]、錯体・有機金属化学[045-064]、高分子化学[065-083]、材料化学[084-106]			
		09	10	11	12	13	14	15	16	17	18								

13:30-13:35 開会挨拶 植村 卓史(東京大学 大学院工学系研究科・教授)
13:35-14:20 ニュートンのリンゴ、マツチのバナナ 馬淵 清貴(北里大学・名誉教授)
14:20-15:05 化学反応のwaveが解き明かす粘菌の集団運動や心臓発作 中垣 俊之(北海道大学 電子科学研究所・教授)
15:10-15:55 毒キノコを安全に味わい、味のタイムマシンをすることはできるか 宮下 芳明(明治大学 総合数理学部・教授)
15:55-16:40 「おしりから呼吸する」研究とその未来 米山 鷹介(大阪大学 大学院医学系研究科・講師)
16:40-16:45 閉会挨拶 平井 邦博(味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所・グループ長)

13:30-13:35 開会挨拶 米澤 徹(北海道大学 大学院工学研究科・教授)
13:35-14:15 粒子輸送・沈着現象の数値解析とエアロゾル粒子設計 三谷 亮介(東京大学 大学院工学系研究科・特任助教)
14:15-14:55 薄層分散系としての電池スラリーの分散制御と構造形成 北村 研太(法政大学 生命科学部・助教/大学院スラリー工学研究所・研究員)
15:00-15:40 高分子・粒子複合系における界面設計と構造制御 山下 裕司(神奈川大学 化学系生命学部・教授)
15:40-16:20 コロイド界面設計によるソフトマテリアル創製 嶋崎 彩絵(東京科学大学 総合研究院・教授)
16:20-17:00 生体界面制御を指向した脂質ナノ粒子DDS設計 高島 由幸(順天堂大学 薬学部・教授)
17:00-17:05 閉会挨拶 山下 裕司(神奈川大学 化学系生命学部・教授)

09:40-09:45 開会挨拶 辻 良太郎(株式会社力ネカ Material Solutions New Research Engine・幹部職)
09:45-10:15 有機分子を自在に操る、電気エネルギーの魔術 信田 尚毅(横浜国立大学 大学院工学研究科・准教授)
10:15-10:45 現代の錬金術、マイクロフロー 布施 新一郎(名古屋大学 大学院創薬科学研究所・教授)
10:55-11:25 電磁波を極めて化学を変える、世界を変える 橋 俊太郎(九州大学 大学院工学研究科・教授)
11:25-11:55 不可能を可能にするメカケミストリー 高垣 敬(横浜国立大学 大学院工学研究科・教授)
11:55-12:00 閉会挨拶 藤原 哲晶(京都大学 大学院工学研究科・教授)

13:30-13:35 開会挨拶 笹間 真也(株式会社ダイヤル 研究開発本部事業創出センター・研究員)
13:35-14:10 AIによる材料開発現場の変革を目指して 大西 裕也(JSR株式会社・リサーチフェロー/マテリアルズ・インフォマティクス推進室・次長)
14:10-14:45 AIができることで変革に～AI for Chemistryを考える 大上 雅史(東京科学大学 情報理工学院・准教授)
14:45-15:20 化学産業のデジタル変革について 入江 満(MI-6株式会社・代表取締役)
15:30-16:05 材料開発は「勘」から「データ」でロボットへ 高橋 啓介(北海道大学 理学研究科・教授)
16:05-16:40 有機合成化学実験の未来:情報とロボットの融合点 長田 裕也(物質・材料研究機構(NIMS) 高分子・バイオ材料研究センター・グループリーダー)
16:40-16:45 閉会挨拶 渡邊 宙志(九州大学 理学研究院 化学部門・准教授)

09:30-09:35 開会挨拶 松方 正彦(早稲田大学 先進理工学研究科・教授)
09:35-10:10 サーキュラーエコノミー実現に向けたものづくりの再設計 梅田 靖(東京大学 大学院工学系研究科/人工物工学研究センター・教授)
10:10-10:45 サーキュラーマテリアルの開発とその環境評価法 齋藤 敬(京都大学 大学院総合生存学館・教授)
10:45-11:20 化学産業のカーボンニュートラルに向けて～固有の課題とサプライチェーン全体を俯瞰した克服への道筋～ 金沢 大輔(東京大学 未来ビジョン研究センター・特任研究員)
11:20-11:55 GSCが拓く未来社会 松方 正彦(早稲田大学 先進理工学研究科・教授)
11:55-12:00 閉会挨拶 片岡 正樹(公益社団法人新化学技術推進協会・事業統括部長)

13:30-13:35 開会挨拶 若林 隆太郎(産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門・主任研究員)
13:35-14:05 C-S-Hのミクロ構造分析に基づく新しいセメント設計およびコンクリートの在り方 斎藤 豪(東京大学 大学院工学系研究科・特任准教授)
14:05-14:35 社会インフラの「基礎」を守り安全を支えるステンレス鋼の腐食科学と防食技術 青木 聡(日本原子力研究開発機構 軽水炉工学研究センター・研究副主幹)
14:35-15:05 インフラの防災・減災:地盤工学と発泡ジョイントセックス(FGS) 安原 一哉(茨城大学・名誉教授)
15:05-15:35 匂いで拓く災害現場の人命探索:触角ドローンから蚊触ルセンサへ 照月 大信(信州大学 繊維学部・准教授)
15:40-16:10 細胞操作ヘルスモニタリングデバイスの研究開発～シート型遠隔センサシステムの社会実装～ 荒木 徹平(大阪大学 産業科学研究所・准教授)
16:10-16:40 亜硝酸リチウムを用いた劣化コンクリート修復技術 徳納 新也(一般社団法人コンクリートメンテナンス協会・技術委員)
16:40-16:45 閉会挨拶 後藤 彰宏(東亜合成株式会社 次世代材料研究所・所長)

09:40-09:45 開会挨拶 三好 大輔(甲南大学 フロンティアサイエンス学部・教授)
09:45-10:15 プラネターヘルスの実現に寄与する材料化学 山本 雅哉(東北大学 大学院工学研究科・教授)
10:15-10:45 セルフリー合成生物学を駆使したバイオものづくり 木賀 大介(早稲田大学 理工学術院・教授)
10:55-11:25 化学で植物を操る 萩原 伸也(理化学研究所 環境資源科学研究センター・チームディレクター)
11:25-11:55 データ駆動で生物機能をデザインしものづくりに活かす 石井 敦浩(プラチナバイオ株式会社・Chief Operating Officer)
13:30-14:00 細胞エンジニアリングで再生医療を拓く 秋枝 静香(株式会社サイフーズ・代表取締役)
14:00-14:30 細胞を化学素材として用いたバイオマテリアルの創出 長澤 宏治(甲南大学 フロンティアサイエンス学部・教授)
14:30-15:00 ハイドラゲル界面の科学:細胞操作材料の設計を目指して 秋元 文(お茶の水女子大学 共創工学部・准教授)
15:15-15:45 細胞操作材料の微視的力学場設計 木戸 秋(九州大学 先端物質化学研究所・教授)
15:45-16:25 [基調講演]RNAで操る合成生命システムへ細胞を見分け、制御し、治療するプログラマブルRNA技術～斎藤 博英(東京大学 定量生命科学研究所・教授)
16:25-16:30 閉会挨拶 和田 健彦(東北大学 多元物質科学研究所/未来型医療創成センター・教授)

09:30-09:35 開会挨拶 山根 和行(株式会社クレハ 開発支援部)
09:35-10:05 粘着・剥離現象に関する階層的・物理的観点 山崎 義弘(早稲田大学 理工学術院・教授)
10:05-10:35 フッ素フリー難付着性表面の化学～環境配慮型コーティング技術の最前線～ 佐藤 知哉(産業技術総合研究所 健康工学研究部門・主任研究員)
10:45-11:15 ナノシート積層膜における界面設計 中川 敬三(神戸大学 大学院科学技術イノベーション研究科・教授)
11:15-11:45 水垢汚れの固着を防ぐ表面設計とDLCコーティング技術 國川 沙織(TOTO株式会社 総合研究所・首席研究員)
11:45-11:50 閉会挨拶 田中 敬二(九州大学大学院 工学研究院 主幹教授)

13:30-13:35 開会挨拶 遠藤 明(産業技術総合研究所 材料・化学領域・領域長)
13:35-13:40 趣旨説明 深谷 訓久(産業技術総合研究所 材料・化学領域・研究企画室長)
13:40-14:10 バイオアッセイ技術と物質変換技術の融合:新たな食薬資源の社会実装を目指して 生長 幸之助(産業技術総合研究所 食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ・副ラボ長)
14:10-14:35 ミドリムシ由来多糖パラミロンを原料にした接着剤の開発 水見山 幹基(産業技術総合研究所 モレキュラーバイオシステム研究部門・主任研究員)
14:35-15:00 バイオ原料を利用した機能性接着剤の開発 秋山 陽久(産業技術総合研究所 材料基礎研究部門・首席研究員)
15:00-15:25 バイオ・低分子医薬品の現地連続製造技術の開発 矢田 陽(産業技術総合研究所 触媒化学研究部門・研究グループ長)
15:35-16:05 ナノ材料技術駆使した高機能バイオマテリアル・バイオセンサの開発 中村 真紀(産業技術総合研究所 材料基礎研究部門・研究グループ長)
16:05-16:30 巨大酵素の精密改変による複合分子の骨格編集技術の開発 工藤 慧(産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門・主任研究員)
16:30-16:55 未利用バイオマスから創るナノセルロースの機能制御 熊谷 明夫(産業技術総合研究所 機能化学研究部門・主任研究員)
16:55-17:20 バイオプロセスを活用した材料創製～バイオサーファクタントの製造・利用技術の開発～ 佐藤 俊(産業技術総合研究所 機能化学研究部門・研究グループ長)
17:20-17:25 閉会挨拶 千葉 靖典(産業技術総合研究所 生命工学領域・領域長)

	会場	09	10	11	12	13	14	15	16	17	
5F	A会場 [小ホール]	9:30-12:00 研究基盤・先端機器がつかなく地域中核大学の研究基盤強化 ～地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS) が拓く研究の未来～ 本セッションでは、日本学術振興会が実施する地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)をテーマに、J-PEAKS採択大学が推進する研究基盤強化について紹介いたします。最先端の研究機器や機器共用、研究環境構築、人材の高度化などの観点から各大学が発表を行い、参加者の皆さまとの情報交換や議論を通じて、今後の研究大学群としての発展・連携につなげてまいります。また、学外の他機関や産業界の皆さまへの情報提供も目的としております。				13:30-16:50 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)特別企画: 化学研究を社会実装へつなぐNEDOの役割と支援事業 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の取り組みおよび化学分野における支援事業をご紹介します。あわせて、研究開発成果の社会実装に向けた取り組みや産学官連携事例を紹介し、新たな連携の可能性について議論を深めます。					
4F	B会場 [研修室]										
	C会場 [蓬莱]	13:30-17:20 生命のダイナミクスを工学へ ～動的バイオミメティクス材料の最前線～ 生物は、環境に応じて形や機能をしなやかに変えながら生きています。本セッションでは、「生命のダイナミクス」に学ぶ動的バイオミメティクスの考え方や最新研究を紹介し、柔軟で適応性の高い次世代材料や革新的なものづくりへの応用可能性を多角的に探ります。									
2F	D会場 [瑞雲]	9:45-15:45 新しい電池のカギをつかめ！～セカイが広がる新技術～ リチウムイオン電池および次世代蓄電池の未来を切り拓く最先端技術を紹介します。正極・負極を中心とした材料開発から、ロボット・自動化を活用したハイスループット実験、評価手法、実用化を見据えたリサイクル技術や規制対応、さらに次世代人材育成まで、産学官連携で進む最新動向を幅広く取り扱います。 12:15-13:05 デンカ株式会社ランチタイムセッション ～半導体の進化を支えるデンカの研究開発のご紹介～									
	E会場 [平安]	9:30-11:45 π電子たちの大冒険！～ナノカーボンと有機半導体 が描くエレクトロデバイス革新～ 「ナノカーボン」や「有機半導体」は、さまざまな産業分野で幅広い革新をもたらす注目の材料です。本セッションでは、これら先端素材の最新研究を紹介し、医療・エレクトロニクスデバイスの未来を切り拓く新たな可能性を探ります。 12:15-13:05 花王株式会社ランチタイムセッション ～見えないリスクを解き明かし、未来の社会を支える安全性科学研究～					13:30-17:20 こんなところにも液晶が！ ～“結晶”と“液体”のあいだに潜む魅惑の新素材～ 液晶は、結晶の秩序性と液体の流動性を併せ持つ物質状態です。ディスプレイへの応用が大きく発展してきましたが、次世代のエネルギー・環境・バイオ技術に革新をもたらす得る新素材としても強く期待されています。本セッションでは、液晶素材の最前線を紹介し、分子設計、構造制御、機能創出の最新展開について議論します。				
	F会場 [福寿]	9:30-12:00 バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～バイ オのチカラによる化学製品製造の最前線を追う～ バイオのチカラを利用した化学製品製造においては、その基礎となるプラットフォーム構築の構築およびエネルギー消費の少ない製造技術で価値のある化学製品を作ることが重要で、高機能な素材をリーズナブルなコストで作り上げることを目指してきたプラットフォーム技術を中心に化学の視点からわかりやすく紹介します。					13:30-16:45 パワーデバイス材料の最前線 ～高効率システムを支えるテクノロジー～ パワーデバイスはEVや再生可能エネルギーの高効率化の要です。本セッションでは、SiCやGaNをはじめとするワイドバンドギャップ半導体材料から、実装封止までを産学官の視点で整理し、エネルギーの高効率化を支える最新材料技術と社会実装の展望を紹介します。				
	G会場 [桃源]	9:30-11:50 化学のプレゼンに役立つKNOW-HOW 自分の研究成果を正しく評価してもらうためには、高度な内容でもわかりやすく、広く発信することが重要です。本セッションでは、より分かりやすいグラフの見せ方やスライド構成など、プレゼンテーションを魅力的にする方法に加え、国内外での発表を視野に入れた研究成果の発信方法や、論文執筆の方法について紹介します。					13:30-16:45 はじめてみようデータ駆動型の研究 近い将来、実験器具や解析装置が使いこなせることに加え、データや人工知能(AI)を活用することも当たり前という時代がやってくるかもしれません。本セッションでは、学生に限らず基礎を知りたい皆様に向けて、データ駆動型研究の基礎と各分野での具体的な活用方法について紹介します。				
1F	産学官R&D 展示会場 [展示ホール]	10:00-18:00 産学官R&D紹介企画・展示ブース 企業や研究機関がポスターや製品サンプル・モデルの展示などで研究開発アクティビティを個性豊かに紹介します。 旭化成(株)、大南有機化学工業(株)、花王(株)、(株)ADEKA、(株)浮間化学研究所、(株)クレハ、(株)クレハ、(株)島津製作所、(株)豊田中央研究所、(株)日本触媒、JSR(株)、四国化成工業(株)、住友ベークライト(株)、田岡化学(株)、DIC(株)、帝人(株)、デンカ(株)、東亜合成(株)、東ソー(株)、東洋紡(株)、東レ(株)、日揮ユニバーサル(株)、日産化学(株)、日宝化学(株)、日本ゼオン(株)、北興化学工業(株)、三井化学(株)、三菱ケミカル(株)、三菱ケミカル(株)、文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ、UBE(株)、ライオン(株)									
	ポスター 会場	10:00-12:00 学生ポスター発表:P7 無機化学・触媒化学・分析化学[001-024]、 有機化学[025-044]、天然物化学・生体機能 関連化学・バイオテクノロジー[045-063]、 高分子化学[064-083]、材料化学[084-107]					13:30-15:30 学生ポスター発表:P8 物理化学[001-014]、無機化学・触媒化学・分析化学[015-034]、有機化学[035-064]、 錯体・有機金属化学[065-084]、材料化学[085-106]			16:00-18:00 学生ポスター発表:P9 物理化学[001-015]、無機化学・触媒化学・分析化学[016-035]、有機化学[036-065]、 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー[066-085]、高分子化学[086-107]	
		09	10	11	12	13	14	15	16	17	

09:30-09:35	開会挨拶 仁科 勇太(岡山大学 学術研究院先鋭研究領域・教授)
09:35-10:05	信大J-PEAKSが先導する最先端無機材料創製・アクセラレータAI-ロボティクス×人材育成～手嶋 勝弥(信州大学 アクア・リジェネレーション機構・教授)
10:05-10:35	金沢大学 さいエンスコンソによる研究基盤共創プラットフォーム 長谷川 浩(金沢大学 理工研究域物質化学系・教授/副理事(サイエンスコンソ)) 千葉大学における研究基盤の共有推進 榎 飛雄真(千葉大学 研究基盤管理機構・機構長補佐)
10:35-11:05	所有から共有へ:コアファシリティーを中核とした研究・イノベーションの創出強化 佐藤 法仁(岡山大学・副理事(研究・産学共創推進担当)/副学長(学事担当)/上級URA)
11:35-11:40	閉会挨拶 加藤 隆史(信州大学 アクア・リジェネレーション機構・特任教授/岡山大学 学術研究院先鋭研究領域・特任教授/東大大学・名誉教授)
11:40-12:00	個別相談会
13:30-13:35	開会挨拶 石渡 拓己(新エネルギー・産業技術総合開発機構 バイオ・材料部・主査)
13:35-14:05	NEDOの取り組み紹介 ノー宮 崇(新エネルギー・産業技術総合開発機構 バイオ・材料部・チーム長)
14:05-14:35	機能性化学品の連続精密生産プロセス技術の開発 小野澤 俊也(産業技術総合研究所 触媒化学研究部門・主任研究員)
14:35-15:05	化粧品産業の未来を切り拓くNEDO懸賞金事業 太田 裕(合同会社ダイト・マトマツ CB&T・パートナー/執行役員)
15:15-15:45	有機ケイ素先端材料の開発および将来展望 五十嵐 正安(産業技術総合研究所 触媒化学研究部門・上級主任研究員)
15:45-16:15	次世代セラミックスの開発プラットフォームの構築 木村 慎一(一般財団法人ファイナセラムックスセンター 材料技術研究所・グループ長)
16:15-16:45	次世代高速通信の省エネ化に資する材料開発 三村 恵一(産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門・グループ長)
16:45-16:50	閉会挨拶 金子 和生(新エネルギー・産業技術総合開発機構 バイオ・材料部・部長)
13:30-13:35	開会挨拶 桑折 道清(千葉大学 大学院工学研究院・教授)
13:35-14:10	生体に学ぶ自己組織化と配向制御で実現する次世代機能材料 佐野 航孝(信州大学 繊維学部・准教授)
14:10-14:45	生体表面に吸着ハイドロゲルリングのダイナミクス 接着・非着 麻生 隆彰(東京理科大学 先進工学部・教授)
14:50-15:25	電場駆動し微生物のように動き回る強誘電マイクロ液滴 荒岡 史人(理化学研究所 創発性物科学研究所センター・チームディレクター)
15:25-16:00	生体分子のダイナミクスに学ぶ動的ゲル材料の設計と応用 宮田 隆志(関西大学 化学生命工学部・教授)
16:05-16:40	生体の近表面特性に着目した船底防汚塗料の開発 大内 元氣(日本ペイントマリン株式会社 研究開発部・研究員)
16:40-17:15	生物体表の動的な表面機能を模倣した次世代バイオミメティクス材料 穂積 篤(産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門・上級主任研究員)
17:15-17:20	閉会挨拶 若林 里衣(九州大学 大学院工学研究院・准教授)
09:45-09:50	開会挨拶 小林 弘明(東大大学 大学院工学系研究科・准教授)
09:50-10:20	電池人材教育は全国規模へ 鈴木 一裕(一般社団法人電池サプライチェーン協議会 事務局・事務局長)
10:20-10:50	電池の評価技術 高森 圭(沖電気工業株式会社 バイオエナジー推進部・執行役員)
11:00-11:30	安全な電池リサイクルを実現する電池不活性化技術 三田 梨歩(株式会社豊田中央研究所 二次電池研究領域)
11:30-12:00	AI・ロボット実験技術を活用した蓄電池材料開発 松田 翔一(物質・材料研究機構(NIMS) エネルギー・環境材料研究センター・チームリーダー)
13:30-14:00	異常高圧下での化学とエネルギー材料への応用 島川 祐一(京都大学 化学研究所・教授/所長)
14:00-14:30	レーザンビームによるスラリー評価技術 山縣 義文(株式会社アントンパール・ジャパン ビジネスユニットキャラクタリゼーション)
14:40-15:10	重アルカリ金属イオンを用いた金属空気電池の検討 多々良 涼一(横浜国立大学 大学院工学研究院・准教授)
15:10-15:40	ナトリウムイオン電池負極の高性能化が見える材料設計 薄井 洋行(鳥取大学 工学部・教授)
15:40-15:45	閉会挨拶 夏原 正仁(株式会社島津製作所 産学官連携推進ユニット・特任部長)
09:30-09:35	開会挨拶 渡上 康太郎(帝人株式会社 コーポレート新事業部門・担当部長)
09:35-10:05	自由自在に変形する「液体エレクトロニクス」-世界初の液体エレクトロニクスが拓く新機能材料の未来～ 中西 尚志(物質・材料研究機構(NIMS) ナノエレクトロニクス材料研究センター・グループリーダー)
10:05-10:35	おむつ内センサーが拓く排尿予測技術～排尿漏れから予測システムへの展開～ 堀井 新司(東レ株式会社 先端材料研究所・シニアリサーチマネージャー)
10:40-11:10	カーボンナノチューブがひらく未来～分子設計から燃料電池・バイオ応用まで～ 藤ヶ谷 剛彦(九州大学 大学院工学研究院・教授)
11:10-11:40	分子の震えを止め加減せよ！究極の有機半導体が拓く超高速デバイスの未来～ 竹谷 純一(東大大学 大学院新領域創成科学研究科・教授)
11:40-11:45	閉会挨拶 岡本 敏宏(東京科学大学 物質理工学研究所・教授)
13:30-13:35	開会挨拶 一川 尚広(東京農工大学 工学研究院・教授)
13:35-14:00	サステナブル界面活性剤/バイオOS～洗浄剤にも液晶！～ 坂井 隆也(花王株式会社 研究開発部門・フェロー)
14:00-14:25	超絶調ラメラ相を形成した無機・有機ナノタターの合成～反応場にも液晶！～ 内田 幸明(大阪大学 大学院基礎工学研究科・准教授)
14:25-14:50	単分散ナノシートが形成する液晶～無機物でも液晶！～ 宮元 展義(福岡工業大学 工学部・准教授)
15:00-15:25	動的らせん構造を活かした円偏光発光デバイスの開発～発光制御にも液晶！～ 今井 喜胤(近畿大学 理工学部・教授)
15:25-15:50	光駆動型の高分子アクチュエーター～人工筋肉にも液晶！～ 宇部 達(静岡大学 工学部・准教授)
15:50-16:15	羽ばたき分子を用いたライトメルト接着材料～接着剤にも液晶！～ 齊藤 尚平(大阪大学 大学院理学研究科・教授)
16:25-16:50	強誘電性ナメック液晶を利用した強誘電モーターの開発～モーターにも液晶！～ 西村 涼(元東京科学大学・特任教授)
16:50-17:15	極性液晶に関する分子シミュレーション最前線～計算科学にも液晶！～ 渡辺 豪(北大阪大学 未来工学部・教授)
17:15-17:20	閉会挨拶 馬渡 康輝(室蘭工業大学 大学院工学研究科・准教授)
09:30-09:35	開会挨拶 谷口 信志(東洋紡株式会社 コーポレート研究所・リーダー)
09:35-10:10	【基調講演】バイオ×ケミストリーものづくりの最先端と化学製品製造に向けた課題 乾 哲行(公益財団法人地球環境産業技術研究機構 バイオ研究グループ・グループリーダー/主席研究員/奈良先端科学技術大学院大学・客員教授/グリーンケミカル株式会社・取締役技術部長/東京農工大学・客員教授)
10:10-10:40	業績・業界を超えて共に創る。藻類「光合成による次世代バイオものづくり」 堀口 和真(株式会社とせ研究所 Tech&Biz Development Div.・Researcher)
10:55-11:25	CO ₂ を化学品へ変えるバイオものづくり 村瀬 大輔(株式会社CO2資源化研究所・研究員)
11:25-11:55	化学×微生物で拓くCO ₂ 資源化・高速化と持続的な生産の融合プロセス 加藤 創一郎(東大大学 大学院農学生命科学研究科・教授)
11:55-12:00	閉会挨拶 平井 邦博(味の素株式会社 マテリアル&テクノロジーソリューションズ研究所・グループ長)
13:30-13:35	開会挨拶 大津 理人(DIC株式会社 アドバンスドマテリアル開発センター・マネージャー)
13:35-14:10	高機能GaNデバイスの技術動向 加地 徹(名古屋大学 未来材料・システム研究所・特任教授)
14:10-14:45	低温結晶成長技術が拓く未来エレクトロニクスの世界 藤岡 洋(東京大学 生産技術研究所・教授)
14:45-15:20	超高品質SiC結晶成長技術の開発 宇治原 徹(名古屋大学 未来材料・システム研究所・教授/株式会社UJ-Crystal・代表取締役)
15:30-16:05	RFハイパワーデバイスの高性能化を支える排熱技術 柳生 栄治(三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 Senior Expert)
16:05-16:40	封止・接着で守るパワーデバイスの高効率システム 野村 和宏(NBリサーチ・代表)
16:40-16:45	閉会挨拶 山口 和也(東京大学 大学院工学研究科・教授)
09:30-09:35	開会挨拶 廣原 志保(沖縄工業高等専門学校 生物資源工学部・教授)
09:35-10:05	企業における研究評価や投資判断につながるスライド設計 萩谷 祐一郎(AGC株式会社 先端基盤研究所・シニアマネージャー)
10:05-10:35	体感して上達するプレゼン技術 三輪 佳宏(理化学研究所 バイオリソース研究センター・室長/筑波大学 グローバル教育院・教授)
10:45-11:15	英語・化学者の視点から レイダー・ジェンセン(公益財団法人日本化学会 学術情報部・Journal Promoter)
11:15-11:45	Finding your voice～自分なりのツールキットを使って英語論文を書く～ トマス モーガン・レスリー(慶應義塾大学 大学院理工学研究科・特任准教授)
11:45-11:50	閉会挨拶 池田 将(岐阜大学 工学部・教授)
13:30-13:35	開会挨拶 緒明 佑哉(慶應義塾大学 理工学部・教授)
13:35-14:10	入門編～マテリアルズ・インフォマティクスとは～ 畑中 美穂(慶應義塾大学 理工学部・教授/分子科学研究所・教授(クロスアポイントメント))
14:10-14:45	有機材料・計算科学編～化学とデータ科学の出会い～ 加藤 幸一郎(九州大学 大学院工学研究院・教授)
14:55-15:30	無機材料・物性編～自律材料探索とそのネットワーク～ 岩崎 悠真(物質・材料研究機構(NIMS) マテリアル基盤研究センター・主幹研究員)
15:30-16:05	バイオ・高分子・解析編～くちやくちやな実験データを研究に役立てよう～ 日比 裕理(物質・材料研究機構(NIMS) バイオ・バイオ材料研究センター・主任研究員)
16:05-16:40	有機化学・合成編～データ駆動型触媒設計の基礎と実践～ 山口 滋(理化学研究所 環境資源科学研究センター・客員研究員)
16:40-16:45	閉会挨拶 緒明 佑哉(慶應義塾大学 理工学部・教授)